

リオンの風

第104期 中間期 事業報告書

2024.4.1-2024.9.30

CONTENTS

トップインタビュー	1
特集1 微粒子計の技術革新に迫る!	5
特集2 難聴の発見に貢献する検査機器と 聞こえの啓発活動をご紹介します	7
特集3 従業員の家族向け会社見学会を実施	9
特集4 新任社外監査役インタビュー	10
トピックス 株主様向け会社見学会開催の ご案内	11
製品別の概況	12
会社案内	13
株主メモ	14
残したい“日本の音風景100選”	裏表紙

残したい“日本の音風景100選”

リオンと音風景の関わりについては
裏表紙をご覧ください。



代表取締役社長

いわ はし きよ かつ
岩橋清勝

微粒子計測器事業が業績を牽引し、 売上高・営業利益・経常利益は 過去最高を更新しました。

Q1 上期の業績と通期の見通しについて、
お聞かせください。

上期は好調な販売が続く微粒子計測器事業が全体の業績を牽引し、売上高・営業利益・経常利益ともに過去最高を更新しました。なお、国分寺本社敷地内の厚生施設の建て替

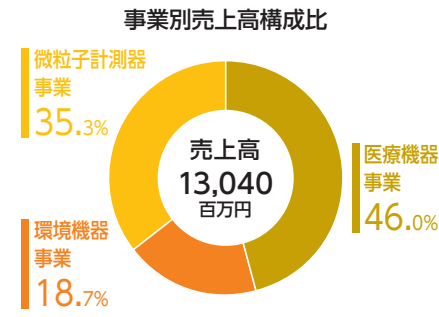
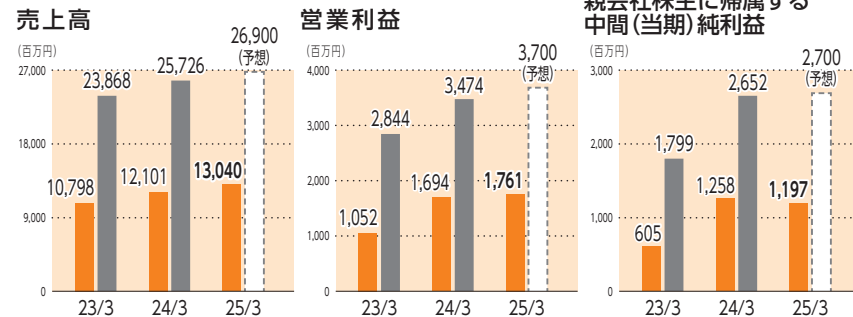
えに伴う費用の一部を特別損失に計上しましたが、前年上期における同費用よりも多かったことから、親会社株主に帰属する中間純利益だけは一時的に前年を下回りました。

好調な微粒子計測器事業を支えるのは、半導体の製造工程で使用される薬液の清浄度を管理するために使われる液中微粒子計です。半導体の微細化の進展に伴い、より微小な粒子を高精度で検出することはもちろん、薬液にも耐える特殊な技術を確立していることが当社の強みです。ここ2年ほどで生成AIに関する技術が飛躍的に伸びてきており、人々の生活がますます便利で快適になっていると感じています。このような変化によって、日常的に

使用する電子デバイスや、それらに組み込まれる半導体の需要がさらに増加すると考えています。半導体需要の高まりにより、当社製品の需要も一層増加するものと予想しています。

次に当社の中核をなす医療機器事業については、継続する物価高騰による個人消費の影響もあり、昨年の業績に届きませんでした。しかし、新製品の更なる拡販を推進していくことで、売上高の回復を見込んでいます。最上位機種であるリオネット2シリーズは、最新の音声処理技術を搭載することでより自然な聞こえを実現させたことに加え、充電式で電池交換が不要になるなどの機能アップを図っています。また、スマートフォンとの連携を

連結財務ハイライト



中間期業績サマリー

	(百万円)
純資産	30,099
総資産	38,188
営業キャッシュ・フロー	2,149
投資キャッシュ・フロー	△968
財務キャッシュ・フロー	△398

通期業績予想

	(百万円)
売上高	13,040
営業利益	1,761
経常利益	1,802
親会社株主に帰属する中間純利益	1,197
売上高	26,900
営業利益	3,700
経常利益	3,700
親会社株主に帰属する当期純利益	2,700

強化し、補聴器から直接スマートフォンの音声を聞けるようにすることで、クリアな音質で通話や音楽鑑賞、動画視聴を楽しめるなど、より快適な日常生活をサポートいたします。

主な事業の状況を大まかに説明しましたが、通期については、微粒子計測器事業が引き続き好調を維持することから、全体での増収増益を見込んでおります。

Q2 65歳以上の高齢者人口が増えるなかで、聞こえに関して意識すべき点をお聞かせください。

65歳頃から加齢性難聴の症状を自覚する方が増えるといわれます。ただ、個人で原因を特定することは難しいため、聞こえにくいと感じた際は、まずは耳鼻咽喉科を受診して検査を受けることが非常に大切です。医学的な治療で治る場合は治療を受け、加齢による聴力の低下であれば補聴器の使用を検討するなど、聞こえを改善するための道筋を正しく理解いただくことが重要です。

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会では、80

歳になっても30デシベルの聴力を保つことを目指す『聴こえ8030運動』を行っており、今年7月からはACジャパンの支援のもと、聴力検査の重要性を訴える難聴啓発キャンペーンを始めました。当社は、聴力検査の結果を簡単に管理・保管できるアプリ「きこえノート」を開発することで難聴の予防と聴力管理をサポートするとともに、難聴啓発キャンペーンにも支援・協力を行っています。引き続き、関係学会や医療機関との連携を強化し、聞こえの大切さを広めるための活動を積極的に展開してまいります。

Q3 ソフトウェア開発の内製化を促進する取り組みについて、お聞かせください。

製品やサービスにおけるソフトウェアの重要性がますます高まるなかで、顧客ニーズの変化に迅速に対応し、競合との差別化を図る必要があります。ソフトウェア開発の人材育成を行いつつ、ソフトウェア開発の内製化を促進する取り組みの起点として、今年4月1日付で東洋テクニカルシステム(株)を子会社化し

ました。ソフトウェア開発における長年のパートナー関係にあった同社の知見を得ながら、当社若手社員を中心にスキルアップを促進する教育プログラムやトレーニングを下期から開始しました。技術の蓄積や知見を社内に積み重ねることで、開発プロセスの効率化と開発スピードの強化を図り、他社との競争力を高めてまいります。

Q4 新たに建設された「リオンプラザ」の活用について、お聞かせください。

50年近く使用した厚生施設が老朽化したため、新たな建屋「リオンプラザ」を建設し、今年3月にオープンしました。1階には7つの大小応接室のほか、学会や展示会などが開催できる最大600名収容可能な大ホールを有し、2階にはリニューアルした食堂や屋外テラス、フィットネスジムなどを備えています。名称の「プラザ」とは、ラテン語で、“人が集まる公共の場”を意味します。食堂では、単に食事を楽しむ場としてだけでなく、組織の垣根を越えたミーティングやディスカッションの場として



「リオンプラザ」の外観

も活用してほしいと考えています。社員同士がリラックスした雰囲気の中で意見交換を行うことで、普段の業務では生まれにくい斬新なアイデアや新たな視点が得られることを期待しています。また、異なる視点やスキルを学び合うことは、知識と経験を豊かにし、革新的な成果を生み出すために欠かせません。多様なバックグラウンドを持つメンバーが集まり、それぞれの専門知識や独自の視点を共有することで、新しいアイデアや解決策が生まれやすくなると考えています。

これからも株主の皆さまにご理解とご支持をいただけるよう努めてまいります。引き続きご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

～見えない世界を見える化する～

微粒子計の技術革新に迫る!

当社の3つの事業の中で、唯一「音」と異なる技術を有する微粒子計測器事業。中でも、空気や液体のなかにある微粒子の数と大きさを検出する微粒子計測器は、半導体関連市場を中心に品質管理を行うため、国内外の工場等で使用されています。半世紀以上にわたる歴史とともに、卓越した技術力をご紹介します。

▶ 輸入販売から自社開発へ、進化する挑戦

1972年、環境の分野で活躍していた当社は、大気汚染や室内の環境衛生問題に対応するために気中微粒子計の輸入販売を開始しました。しかし、品質面や保守対応において課題があったため、自社で製品開発する道を決意。数々の試行錯誤を経て、1977年に国産初の気中微粒子計を開発し、1984年には国産初の液中微粒子計を世に送り出し、微粒子計の普及に大きく貢献しました。



国産初の液中微粒子計「KL-01」

▶ 半導体製造工程で使われる薬液の難題を克服



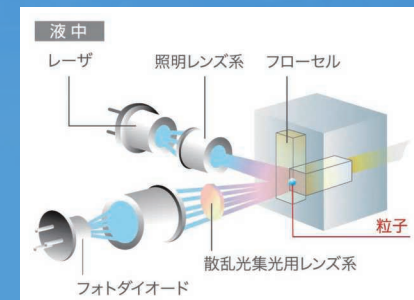
様々な薬液に対応
(酸・アルカリ・有機溶剤・
洗浄用化学薬品など)

日本の半導体産業が隆盛を極めた1980年代後半。半導体の製造工程で使用される薬液に対応した製品開発が進められました。薬液には強い腐食性があり、例えば、フッ化水素酸は微粒子計内部のフローセルを溶かしてしまう課題がありました。フローセル製造会社と共同開発することで、課題を克服し、薬液に強い当社の技術力の礎を築きました。

コラム

液中微粒子計の仕組み

粒子にはレーザー光を当てると散乱光を発する性質があり、粒子の大きさによって異なります。この原理を使い、微粒子計は粒子の数と大きさを検出しています。右図はフローセル内を流れる液体にレーザーで光を当て、粒子が発する散乱光をフォトダイオードで検出しているところです。



▶ より小さな微粒子の検出に技術を結集

近年発売した液中微粒子計

発売時期	製品型式	最小可測粒径
2009年	KS-18F	50nm
2011年	KS-18FX	40nm
2014年	KS-19F	30nm
2022年	KS-20F	20nm

単位：1nm(ナノメートル)は10億分の1メートル

粒子が発する光の強さは粒子が小さくなればなるほど弱くなります。いかにして、小さな粒子を検出するかが、製品開発のポイントです。2022年に発売した「KS-20F」は、より微小な光を検出する技術を確認するとともに、機器の内部に採用するレーザーや集光レンズ、電気回路など、すべての設計を見直すことで、20nm(ナノメートル)という非常に小さな粒子の検出を実現しました。

▶ 飽くなき探求は続く

半導体の微細化に伴い、微粒子計測器に求められる精度は益々高まっています。微粒子計測器事業では、そのニーズに応えるべく、さらに小さな粒子の検出を可能とする技術開発を進めています。目には見えない粒子に対する技術者たちの飽くなき挑戦は続きます。



難聴の発見に貢献する検査機器と聞こえの啓発活動をご紹介します

聴力は年齢とともに徐々に衰えていきます。その進行がゆっくりであるため、聴力の低下に気づきにくい現状があります。当社は長年にわたり、聞こえに向き合い、難聴の発見に貢献してきました。ここでは、検査機器や聞こえに関する取り組みをご紹介します。



医療機関と共に歩み、聞こえに向き合い続けるリオン

難聴問題の解決には、個人が装用する補聴器だけでなく、医療機関等において聴力の状態を的確に診断するための検査機器が欠かせません。当社は医療機関等からの要望に応え、1952年にオーディオメータを開発。その後も関係学会との共同研究等に基づいて改良を進めるなど、最新の検査技術と医療現場での使いやすさを兼ね備えたオーディオメータなどの検査機器を次々と開発してきました。

意外と身近なリオン製品

当社製品は、生まれて間もない時期に行う新生児聴覚スクリーニング検査から定期健康診断、病院での聴力検査まで、人生の様々な場面での聞こえの確認において活躍しています。もしかすると、どこかで当社製品を使って聴力検査を受けているかもしれませんね。



聴力検査の様子



新生児の聴覚検査に使う聴覚スクリーナー



コンパクトな健診用オーディオメータ

リブランディングで、より一層の聞こえの価値を提供

これまで、補聴器だけでなく、広く聞こえに関わる事業を展開してきました。このたび、2024年1月に補聴器と聴力検査機器のブランドを統一することで、新たに「RIONET」としてスタートしました。「その聞こえのためにすべてを。」をスローガンに、難聴の発見から解決まで一気通貫の価値を提供し、より一層一人ひとりの聞こえに寄り添い続けます。補聴器、聴力検査機器の双方で培ってきた技術やノウハウ、ブランド力を活かし、よりよい聞こえに貢献する取り組みを進めていきます。



その聞こえのためにすべてを。
RIONET

聞こえの大切さを啓発

聞こえの状態を簡易的に測定できる「聞こえチェッカー」の開発や聴力検査結果を簡単に管理・保管できるアプリ「きこえノート」の開発、全国での聞こえセミナーの実施などを通じて、聞こえの仕組みや難聴について知る機会を提供しています。これからも聞こえに寄り添い、豊かで楽しい日々を過ごせる生活環境づくりを目指してまいります。



聞こえチェッカーを体験する様子



聞こえセミナーの様子



医師監修のハンドブック



聴力検査結果を管理・保管できる「きこえノート」

従業員の家族向け会社見学会を実施

暑さが続く2024年8月20日、国分寺本社において家族が働くリオンをもっと知ってもらうことを目的に会社見学会を開催しました。会社見学会は、企業と家族、そして従業員同士が家族ぐるみのつながりを作るとともに、子供たちが社会を知るきっかけを与えます。

従業員の家族（小学生のお子さん）を対象に38名が参加した会社見学会の様子をご紹介します。

【プログラム】

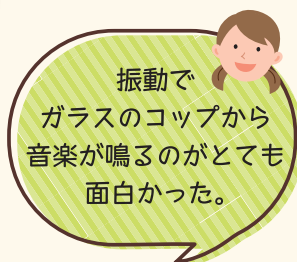
- ★会社のことやリオン製品を学ぼう！
- ★製造現場や無響室を見学しよう！
- ★体験を通して製品をもっと理解しよう！



リオン製品に詳しくなろう。ただいま、補聴器の仕組みを学んでいます。



公式キャラクターのピクシーくんが体験会場に登場。子供たちから大人気です。



振動でガラスのコップから音楽が鳴るのがとても面白かった。



顕微鏡を使って、製造の疑似体験。細かい作業も上手にピンセットを使います。



紙でっぽうを作って、音の大きさを競います。「パーン」と大きな音が鳴ったね。

参加者の声 /

無響室内と外での音の聞こえの違いがよく分かった。

新任社外監査役インタビュー

2024年6月25日開催の株主総会にて、新たに社外監査役が選任されました。

これまでの経歴と今後の抱負について語っていただきました。

社外監査役
寺町 東子



Q | ご自身の経歴についてお聞かせください。

1994年に東京弁護士会に弁護士登録、2003年に社会福祉士登録をしました。様々な経験を重ねてきましたが、大きく3つに分けてお伝えしたいと思います。

まず、高齢者や障害者の権利擁護、子どもの施設・学校などでの重大事故の対応、様々な困難を抱える女性の支援ほか、身の回りで起こりうる民事事件を中心に活動してきました。また、横領や背任などの不正や重大事故などの不祥事案で、調査により細かい証拠を積み上げて事実認定し、再発防止の提言をする第三者調査委員会の仕事は、適性とやりがいを感じています。

次に個別の事件対応とは別に、制度や法律改正といったルール作りに関わりました。具体的には、家庭裁判所に弁護士会から成年後見人候補者を推薦する制度作り、厚生労働省や内閣府に対して未就学児施設での重大事故防止及び事故発生時の対応ガイドラインの提言、児童福祉法改正や刑法性犯罪規定の改正などです。制度やルールを作るには、現場で起きている事実をつぶさに把握して要件定義をする必要があり、「魂はディティールに宿る」ことは、分野が異なっても同

じだと思えます。

最後に、2022年度に約9,000人(当時)の会員を擁する東京弁護士会の筆頭副会長を務め、人事労務・危機管理対応をはじめ執行機関を統括する経験をしました。弁護士という第三者的な視点から、組織の中の当事者としての意識を持つ転換点になりました。

Q | ご経験を踏まえて、社外監査役としての抱負をお聞かせください。

担当していた方がリオンの補聴器を使用していました。認知症のため補聴器を紛失され、筆談せざるを得ないことが何度かあり、QOLの維持に補聴器が重要な役割を果たしていることを実感していました。この度、社外監査役に就任することになり嬉しく存じます。独立した立場からの監査という形ですが、リオンの企業理念・経営理念・行動規範に基づき、適正な業務執行をサポートできるよう努力してまいります。

1 地盤振動などを測定する振動レベル計「VM-57」を発売

リオンは、計量法および日本産業規格の「振動レベル計」(JIS C 1510:2023)、「振動レベル計 - 取引又は証明用」(JIS C 1517:2014)に適合した振動レベル計「VM-57」を7月17日に発売しました。本製品は、主に振動公害に関する地盤振動の測定に用いられ、人の振動感覚に基づく特性で補正した振動レベルを計測することが可能です。新機能としてVC曲線による評価値「VC値」の算出を実現し、精密機械の設置場所の振動測定にも応用できるほか、操作性の向上や筐体サイズをコンパクトにして軽く持ちやすい形状にするなど、現場での使いやすさも徹底的に追求しています。



振動レベル計「VM-57」
※写真は、本体と付属の3方向
振動ピックアップPV-83E

振動レベル計「VM-57」の詳細はこちらをご覧ください。
<https://svmeas.rion.co.jp/products/VM-57.html>



2 株主様向け会社見学会開催のご案内

毎年、株主の皆さまのご意見を今後の経営およびIR活動に役立てていくために、アンケートを実施しています。このたび、株主様のご要望が多かった会社見学会を以下の日程で行いますので、是非ともご参加いただけますと幸いです。

※会社見学会のご参加は、単元株主の方に限定しております。

日時	2025年2月25日(火)午後
会場	リオン株式会社 本社(東京都国分寺市東元町3-20-41)
募集人数	50名(応募多数の場合は抽選になります。)
内容	試験用施設などの見学・各製品のご説明 一般財団法人小林理学研究所内の「音響博物館」見学 代表取締役社長岩橋清勝をはじめ、当社役員との質疑応答
応募方法	株主様アンケート(WEB)内の設問において、ご回答をお願いいたします。
申込締切	2025年1月15日(水) ※当選された方には、2025年1月下旬を目途にご案内をお送りいたします。



アンケートサイトはこちらです。

<https://forms.office.com/r/yJyGU2YYDh>



▶お問い合わせ先
リオン株式会社
「株主様向け会社見学会」担当
電話番号 042-359-7830
(土日・祝日を除く9時～17時)

第104期中間期・製品別の概況

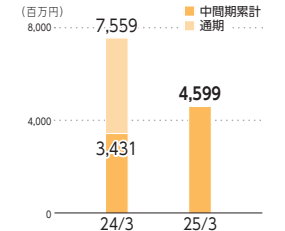
First six months of the 104th period by product overview

微粒子計測器



微粒子計測器は空気や液体の中に浮遊する微粒子を計測しています。高い清浄度管理が求められる、半導体などの精密機械や医薬品、食品の製造現場では、微粒子計測器による微粒子管理が行われており、ユーザーからの高い信頼を得ています。

上期は、半導体関連市場において設備の新設や増強等の投資が堅調に推移し、半導体製造工場で使用される液中微粒子計測器の販売が好調に推移した結果、前年同期を上回る過去最高の売上高となりました。

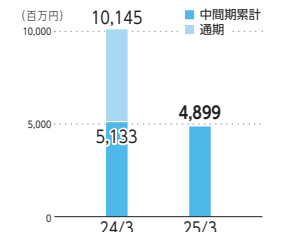


補聴器



「リオネット補聴器」のブランド名で親しまれるリオンの補聴器は、高齢化に伴う難聴者層の増加などを背景に、潜在成長力の高い補聴器市場において、お客様のニーズに寄り添った先進技術で業界をリードしています。

上期の業績は、新製品リオネット2シリーズを中心に拡販に努めましたが、継続する物価高騰による個人消費の落ち込みにより、コロナ禍からの回復によって来店者数が好調に推移していた前年同期と比べ減収となりました。

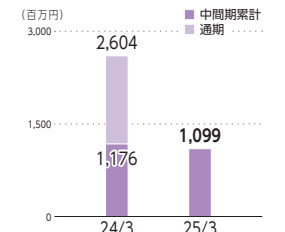


医用検査機器



医療の考え方が、治療から予防、さらに健康医学へと広がるなか、「検査」の役割はますます高まり、機器の多様化が進んでいます。大学病院の臨床検査や、人間ドックの聴力検査など、医用検査機器は多くの医療現場のニーズに応えています。

上期については、耳鼻咽喉科をはじめとした医療機関の機器更新が前期から好調に推移しているものの、オージオメータや大型聴力検査室の受注が集中した前年同期の売上高には及びませんでした。

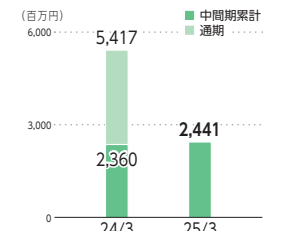


音響・振動計測器



騒音計、振動計、地震計など、環境行政や産業の多彩なニーズにきめ細かく応える製品を提供し、国内外の環境・産業計測市場を支えています。

上期の業績は、国内市場において騒音計及び振動レベル計の新製品を発売したことによって機器更新が増加したことや騒音ばく露計を新たに発売したことから販売が堅調に推移しました。一方で、欧州及び中国の景気減速により販売が低調に推移したため、売上高は前年同期と同水準となりました。



会社案内 (2024年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

商号 …… リオン株式会社
 本社 …… 東京都国分寺市東元町三丁目20番41号
 創立 …… 1944年6月21日
 資本金 …… 20億6,489万円
 従業員数 …… 連結1,026名、単体508名(2024年3月31日現在)
 事業内容 …… ○ 微粒子計測器 ・ 微粒子計測器
 ○ 医療機器 ・ 補聴器
 ・ 医用検査機器
 ○ 環境機器 ・ 音響・振動計測器

株式情報

発行可能株式総数 …… 32,000,000株
 発行済株式総数 …… 12,336,700株
 総株主数 …… 6,731名

大株主

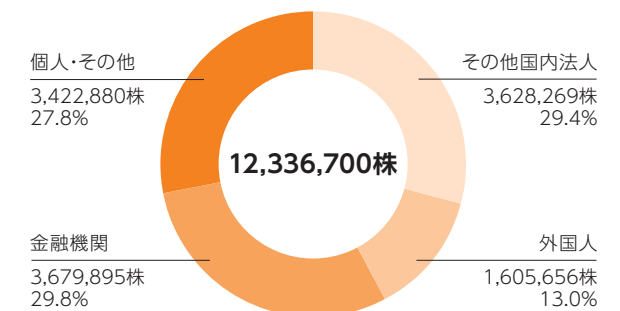
株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
一般財団法人小林理学研究所	3,130,700	25.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,300,400	10.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,138,400	9.24
リオン取引先持株会	472,900	3.84
株式会社みずほ銀行	210,000	1.70
リオン従業員持株会	172,500	1.40
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	158,300	1.28
日本生命保険相互会社	150,000	1.22
JPモルガン証券株式会社	138,352	1.12
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	135,300	1.10

(注) 持株比率は、自己株式17,382株を控除して計算しております。

取締役および監査役

代表取締役社長 …… 岩橋 清勝
 取締役会長 …… 清水 健一
 常務取締役 …… 加藤 公規
 取締役 …… 篠崎 利之
 社外取締役(独立役員) …… 築野 元則
 社外取締役(独立役員) …… 濱田 喜久子
 社外取締役(独立役員) …… 上田 麻理
 社外取締役(独立役員) …… 高橋 和伸
 常勤監査役 …… 中野渡 誠
 社外監査役(独立役員) …… 佐久間 善弘
 社外監査役(独立役員) …… 寺町 東子

所有者別株式分布状況(持株数)



株主メモ

Stock Information

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、株券電子化の際、株券を証券会社の口座に入庫しなかったなどの理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主様アンケート実施のお知らせ

株主の皆さまのご意見を今後の経営およびIR活動に役立てていくため、昨年に引き続きWEBにてアンケートを実施いたします。ご回答方法を参照のうえ、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。ご回答いただいた株主様に2月下旬を目途に1,000円分の図書カードを贈呈いたします。

※アンケートは、単元株主の方に限定しております。

● 回答方法

下記のアンケートサイトにアクセスいただき、ご回答をお願いいたします。同封の配当金領収証の右上に記載されている株主番号(9桁)をご入力いただく必要がありますので、アンケートの回答が終わるまではお捨てにならないようお願いいたします。

アンケートサイトはこちらです。
<https://forms.office.com/r/yJyGU2YYDh>



● 締切日：2025年1月15日(水)

株主優待制度のご案内

期末配当基準日(3月31日)現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

ジェフグルメカード(食事券)

100株以上 ▶	500円分
500株以上 ▶	1,500円分
1,000株以上 ▶	3,000円分
5,000株以上 ▶	5,000円分
10,000株以上 ▶	10,000円分

【追加】100株以上かつ3年以上継続保有※ ▶ 1,000円分

※同一の株主番号で、毎年3月末と9月末の株主名簿に7回以上連続で記録された株主様を3年以上継続保有とみなします。

リオネット補聴器購入割引券

100株以上	※ メーカー希望小売価格の10%割引 (片耳購入の場合は1台分) (両耳同時購入の場合は2台分)
	有効期間：1年間



表紙の写真

一〇〇選

音風景

残
し
た
い
日
本
の



柴又帝釈天

初詣や庚申の日の縁日には、多くの参拝者や観光客が訪れ、賑やかな雰囲気味わえます。

矢切の渡し

江戸川沿いでは、春にはヒバリがさえずり、夏にはオオヨシキリが鳴き、冬にはユリカモメが舞う。四季折々、多くの野鳥が集まります。

東京都・千葉県／柴又帝釈天界限と矢切の渡し

柴又帝釈天の参道は、昭和の風情を感じさせるレトロな雰囲気が漂います。参道には、草団子や手焼きせんべいなどの伝統的な和菓子を提供する老舗店が軒を連ねており、参拝者や観光客で賑わっています。また、1年を通して多くの野鳥が集まる江戸川沿いに場所を移すと、千葉県松戸市の矢切と東京都葛飾区柴又とを結ぶ渡し船があります。この「矢切の渡し」の始まりは江戸時代の初期といわれ、対岸を結ぶ情緒たっぷりの木製の渡し船は、訪れる人々の気持ちをのどかにさせてくれます。

この地で、“柴又帝釈天界限と矢切の渡し”の小旅行を楽しむ様子を描いたリオネット補聴器のCMを2006年に撮影しました。「話そう。楽しもう。人生を。」をテーマに、参道の飴屋の飴切りの軽快なリズムや矢切りの渡しで感じられる風や鳥の鳴き声など、聞き取れる喜びをかみしめているシーンが印象的です。

— 残したい“日本の音風景100選” —

残したい“日本の音風景100選”とは、1996年に環境庁(現・環境省)が選定した「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残したいと願う音の聞こえる環境(音風景)」です。この100選には、小鳥のさえずりや海の波音、祭りの掛け声など、自然や人が作り出す様々な音が含まれ、北海道から沖縄まで、地域ごとの音風景が紹介されています。

リオン株式会社 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41
TEL.042-359-7830(リオン株式会社 企画部 IR広報課)

<https://www.rion.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

